



森下仁丹

報道関係各位

2014年12月2日
森下仁丹株式会社

北里 WHO・COI シンポジウム
(兼 漢方診療標準化プロジェクト第2回シンポジウム)
「安全高品質な漢方 ICT 医療による未病制御社会を目指して」
開催のお知らせ

森下仁丹株式会社(本社:大阪府中央区/代表取締役社長:駒村純一)は、2014年12月6日(土)12:45よりパシフィコ横浜(横浜市西区)にて開催される《北里WHO・COIシンポジウム兼漢方診療標準化プロジェクト第2回シンポジウム「安全高品質な漢方ICT医療による未病制御社会を目指して」》を、北里大学等とともに主催いたします。

本シンポジウムは、当社が参画している文部科学省/独立行政法人科学技術振興機構の平成25年度 研究成果展開事業「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM):安全高品質な漢方ICT医療を用いた未病制御システムの研究開発」の一環として開催されるものです。

本プログラムは、北里大学(東京都港区白金/学長:小林弘祐)が取り組みの拠点候補となり、富士通株式会社(本店:神奈川県川崎市/代表取締役社長:山本正巳)、大峰堂薬品工業株式会社(本社:奈良県大和高田市/代表取締役社長:辻将央)、株式会社ウチダ和漢薬(本社:東京都荒川区/代表取締役:内田尚和)の五社・大学で推進するものです。漢方医学の概念である「未病」(疾病に至る手前)の段階で健康管理が可能となるシステムを確立し、健康寿命の延長や医療コストの軽減を目指した検討を行います。その他、ICT(情報通信技術)を利用して患者データを大規模に集積し、新たな科学的根拠に基づく「漢方医学ドック」の普及や漢方簡易自己健康管理システムの確立も目指し、無農薬、減農薬で栽培可能な高品質生薬の開発と国内生産拠点の整備、およびカプセル技術等を用いた投薬法も検討します。

当社は引き続き総合ヘルスケア企業として、医薬品から医療機器、健康食品まで幅広く展開しておりますが、本シンポジウムも漢方を中心としたヘルスケアの取組みに役に立つと期待しております。

【シンポジウム概要】

開催日時: 2014年12月6日(土) 12:45~17:40

開催場所: パシフィコ横浜 アネックスホール (横浜市西区)

シンポジウム詳細、参加は、北里大学東洋医学総合研究所 EBMセンター

【問い合わせ先】 [TEL:03-5791-6346](tel:03-5791-6346) E-MAIL: omrc-ebm@insti.kitasato-u.ac.jp

【リリースについてのお問合せ先】

森下仁丹株式会社 広報宣伝部 担当:磯部・本山 TEL:06-6761-1134 FAX:06-6761-8108
共同PR株式会社 第六業務局 担当:長尾・呉 TEL:03-3571-5236 FAX:03-3574-9364

